

2024年12月期 第2四半期(中間期) 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月12日

上場会社名 ガーラ

上場取引所 東

コード番号 4777

URL <http://www.gala.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO

(氏名) キム ヒヨンス

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 岡本 到

TEL 03-6822-6669

半期報告書提出予定日 2024年11月12日

配当支払開始予定日

未定

決算補足説明資料作成の有無

有

決算説明会開催の有無

無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年1月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年12月期中間期	1,202	—	△102	—	△31	—	△146	—
2023年12月期中間期	982	△45.8	△111	—	△78	—	△71	—

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 7百万円 (—％) 2023年12月期中間期 △36百万円 (—％)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	△5.67	—
2023年12月期中間期	△2.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	％	百万円	％	％	％
2024年12月期中間期	3,972	—	2,583	—	44.9	—
2023年12月期	3,355	—	2,014	—	47.7	—

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 1,782百万円 2023年12月期 1,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	—
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	0.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】P. 4「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第3四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	28,024,900 株	2023年12月期	25,035,700 株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	— 株	2023年12月期	— 株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	25,838,929 株	2023年12月期中間期	25,035,700 株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(決算期変更)

前連結会計年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、前連結会計年度は2023年4月1日から12月31日までの9か月決算となっております。これに伴い、前中間連結累計期間(2023年4月1日~2023年9月30日)と当中間連結累計期間(2024年1月1日~2024年6月30日)は比較対象期間が異なるため、対前年増減比較については記載を省略しております。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料については、決算発表後に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	7
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当中間決算に関する定性的情報

当社及び連結子会社（以下、「当社グループ」という。）は、2023年6月24日開催の第30回定時株主総会において、定款を一部変更し、前連結会計年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、前連結会計年度は2023年4月1日から12月31日までの9か月決算となっております。これに伴い、前中間連結会計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）と当中間連結会計期間（2024年1月1日～2024年6月30日）は比較対象期間が異なるため、（1）経営成績に関する説明に係る対前年増減比較については記載を省略しております。

（1）経営成績に関する説明

当社グループの当中間連結会計期間における経営成績の概況は、連結売上高1,202,689千円となりました。

これは、主にHTML5ゲーム「Flyff Universe（フリフユニバース）」の売上高によるものであります。

売上原価は、434,299千円となりました。これは、主にHTML5ゲーム「Flyff Universe（フリフユニバース）」に係る支払ロイヤルティ及び2023年12月期第3四半期からROAD101 Co., Ltd. を連結の範囲に含めたことによる人件費・外注費等によるものであります。

販売費及び一般管理費は、870,443千円となりました。主な内訳は、役員報酬145,641千円、給与手当222,799千円及び支払手数料102,623千円であります。

これらの結果、営業損失102,054千円、経常損失31,424千円、親会社株主に帰属する中間純損失146,549千円となりました。

セグメントごとの経営成績の概況は、次のとおりであります。

① 日本

日本セグメントでは、連結子会社Gala Lab Corp. が開発したスマートフォンゲームアプリ「Rappelz（ラペルズモバイル）」について、2021年10月にアメリカ・カナダでのサービス提供を開始いたしました。2022年11月にサービス提供を一時終了いたしました。現在、「Rappelz（ラペルズモバイル）」にブロックチェーン技術を組み合わせてNFTゲーム/ブロックチェーンゲーム（※1）「Rappelz Universe（ラペルズユニバース）」にリニューアルし、グローバルエリアにおけるリリースに向けて準備を進めております。NFTゲーム/ブロックチェーンゲームは、ゲーム内のアイテム等が暗号資産基盤技術であるブロックチェーン（※2）により「NFT（※3）化」され、ユーザーがゲーム内で得たアイテム等を暗号資産に変えて取引所等で売買が可能となります。これにより、ゲームの魅力をより高め、ゲーム事業の収益化に向けて注力してまいります。現在、「Rappelz Universe（ラペルズユニバース）」のリリース準備を進めておりますが、ゲーム内で使用する暗号資産の韓国国内での法律面及び税務面での検討に時間を要しており、現在のところサービス開始日が未定となっております。

また、連結子会社㈱ツリーフルが沖縄県名護市で行っているツリーハウスリゾート事業は、ツリーハウス及び地上の建築物であるエアロハウスを1つのセットにして宿泊者に提供するリゾート事業であります。㈱ツリーフルは、2021年7月に「旅館業法に基づく旅館業営業許可申請」が許可され、日本で初めて宿泊料を受けて宿泊が可能なツリーハウスリゾートとして2021年8月にオープンいたしました。

2024年1月において、当社は、㈱ツリーフルの第三者割当増資引受の決議を行い、同社の株式を15.7%追加取得し、当社の持分比率は24.4%となりました。当該第三者割当増資により、ツリーハウス及びエアロハウスの建築投資を促進させ、また、当社グループと同社の協力関係をより強化することが当社グループの企業価値向上につながるかと判断いたしました。

なお、2024年8月に追加のエアロハウス2棟が完成し、現在、新しいツリーハウス2棟とセットで、既存の1セットを含めた合計3セットのサービス提供を行っております。

ツリーハウスリゾートのコンセプトは、「サステイナブル（持続可能な）リゾート」であり、化石燃料を使用せず、代わりに電気を使用し、使用量よりも多くの太陽光発電により持続可能な社会を構築することを目指しております。当社グループは、ツリーハウスビジネスを日本のみならず海外にも普及させ、森林ビジネスの価値を生み出すことにより海外における森林破壊を食い止めていきたいと考えております。ツリーハウスリゾート事業の海外展開のファーストステップとして㈱ツリーフルは、2023年11月において、カンボジアにTREEFUL (CAMBODIA) Co., Ltd. を設立いたしました。TREEFUL (CAMBODIA) Co., Ltd. は、持続可能な高級リゾートホテルとして、ツリーハウスを通じて安定した収益を上げ、森と人間社会の共存の道を目指しております。

費用面では、売上原価2,171千円、販売費及び一般管理費272,412千円を計上いたしました。販売費及び一般管理費の主な内訳は、役員報酬が80,541千円、給与手当29,050千円であります。

これらの結果、日本セグメントにおける売上高は38,497千円（内部取引を含む）となり、セグメント損失が236,085千円となりました。

② 韓国

韓国セグメントでは、2022年5月にサービス提供を開始したHTML5ゲーム「Flyff Universe（フリフユニバース）」の売上高が557,706千円となりました。なお、HTML5ゲーム「Flyff Universe（フリフユニバース）」については、2023年7月において契約形態の変更により、売上高の計上方法がパブリッシャーとしてのパブリッシング売上高から受取ライセンス料によるライセンス売上高に変更になっております。HTML5ゲームは、ダウンロード不要でPC及びスマートフォン等、様々なデバイスからプレイが可能な接近性が高いゲームであります。Gala Lab Corp.は、2023年7月にBPMG Co., Ltd.及びWemade Connect Co., Ltd.との間でHTML5ゲーム「Flyff Universe（フリフユニバース）」のHTML5ゲームの要素にブロックチェーン技術によるPlay To Earn (P2E)（※4）要素を組み合わせたNFTゲーム/ブロックチェーンゲーム「Flyff Universe（フリフユニバース）」について、パブリッシング及びゲーム事業に関する戦略的提携契約を締結いたしました。現在、リリースに向けて準備を進めておりますが、「Rappelz Universe（ラペルズユニバース）」と同様の理由によりNFTゲーム/ブロックチェーンゲーム「Flyff Universe（フリフユニバース）」について、現在のところサービス開始日が未定となっております。

なお、Gala Lab Corp.は、現在、Wemade Play Co., Ltd.が開発し、韓国で大ヒットを記録したモバイルゲーム「AniPang」のIPを活用したHTML5版ゲームの開発を進めております。他社のゲームのIPと、当社グループにおけるHTML5ゲームの開発力を用いたHTML5ゲームの開発にも注力してまいります。

続いて、スマートフォンアプリ事業では、売上高150,169千円となりました。現在、Gala Lab Corp.がスマートフォンゲームアプリ「Flyff Legacy（フリフレガシー）」を提供しており、また、連結子会社Gala Mix Inc.が歩数計アプリ「winwalk（ウィンウォーク）」、スマートフォンアプリ「winQuiz（ウィンクイズ）」及びスマートフォンアプリ「Poll Cash（ポールキャッシュ）」を提供しております。

オンラインゲーム事業では、売上高が230,369千円となりました。Gala Lab Corp.の主力ゲーム「Flyff Online（フリフオンライン）」及び「Rappelz Online（ラペルズオンライン）」について、サービス提供を行っております。現在、ライセンス展開及びチャネリング（※5）展開を進めております。

さらに、当社グループは、収益貢献へのもう一つの施策として、Gala Lab Corp.、韓国における大手電機通信事業会社LG Uplus Corp.及び韓国最大規模のデジタルIT企業であるMegazone Corporationとメタバース（※6）キャンパスプラットフォーム「UVERSE（ユーバース）」事業（以下、「Meta Campus事業」という。）を進めております。Meta Campus事業は、メタバースプラットフォームによる仮想キャンパスを開発・構築し、大学等の教育機関に生徒のコミュニティ空間や大学入試説明会等のイベントの場としてメタバースプラットフォームを提供していく事業であります。業務の役割分担は、Gala Lab Corp.がメタバースプラットフォームの開発、LG Uplus Corp.が学校誘致及びマーケティング、Megazone Corporationがクラウド等のインフラ提供を担当いたします。現在、複数の有名大学にサービスを提供しており、Meta Campus事業では、売上高が173,043千円となりました。

また、連結子会社ROAD101 Co., Ltd.が行うVFX事業の売上高は、33,980千円となりました。

VFXとは、視覚効果を意味するvisual effectsの略で、映画やテレビドラマなどの映像作品において、現実には見ることのできない画面効果を実現するための技術のことをいいます。VFX事業は、VFX技術を用いた映画・CMコンテンツ等の制作事業であります。

費用面では、売上原価432,128千円、販売費及び一般管理費593,730千円を計上いたしました。販売費及び一般管理費の主な内訳は、役員報酬65,099千円、給与手当193,748千円及び支払手数料107,053千円であります。支払手数料は、主にゲーム開発に係るアウトソーシング費用であります。

これらの結果、韓国セグメントの売上高は1,188,166千円（内部取引を含む）となり、セグメント利益が162,307千円となりました。

- （※1） NFTゲーム/ブロックチェーンゲームとは、暗号資産基盤技術であるブロックチェーン（※2）を利用し、ゲーム内アイテムが「NFT化」されているゲームをいいます。GameFi（GameとDecentralized Finance：ゲームと分散型金融を掛け合わせた造語）とも言われております。
- （※2） ブロックチェーンとは、分散型ネットワークを構成する複数のコンピューターに暗号技術を組み合わせ、取引情報等のデータを同期して記録する手法であり、一定期間の取引データをブロック単位にまとめ、コンピューター同士で検証し合いながら正しい記録をチェーン（鎖）のようにつないで蓄積する仕組みであります。
- （※3） NFT（Non-Fungible Token：非代替性トークン）とは、「偽造不可な鑑定書・所有証明書付きのデジタルデータ」のことであり、暗号資産と同じく、ブロックチェーン上で発行及び取引されるデジタルデータであります。
- （※4） Play To Earn (P2E) とは、ブロックチェーンゲーム内で得た収入やポイントを暗号資産に変えて取引所等で売買が可能であり、このゲームで遊んで収入が得られることが「Play To Earn」(P2E)と呼ば

れております。

(※5) チャネリングとは、オンラインゲーム等に関して、他社のゲームポータルサイトにてプレイできるようになるサービスをいいます。

(※6) メタバース (Metaverse) は、超を意味するメタ (meta) と宇宙を意味するユニバース (universe) から作られた合成語で、多人数が参加可能で、参加者がその中で自由に行動できるインターネット上に構築された多人数参加型の3次元仮想空間です。利用者はアバターと呼ばれる自分の分身を介して仮想空間に入ることによってその世界の探索、他の利用者とのコミュニケーションを図ることができます。また、ユーザーが独自のゲームを作成し、他のユーザーにプレイさせて収益化することやユーザーがゲーム内のアイテム等をNFT (※3) として他のユーザーと暗号資産により売買することができる仕組みを構築できます。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて569,386千円増加し、2,583,942千円となりました。

主な増減は、資産では、現金及び預金が251,937千円、売掛金及び契約資産が59,684千円、短期貸付金が175,000千円増加した一方で、敷金及び保証金が38,708千円減少いたしました。現金及び預金は、主に、HTML5ゲーム「Flyff Universe (フリフユニバース)」の収益によるもの及び新株予約権の行使によるもの、短期貸付金は、新規貸付により増加したものであります。敷金及び保証金は、ROAD101 Co., Ltd. の事務所移転により減少したものであります。

負債では、未払金が25,905千円、前受金が21,500千円、退職給付に係る負債が33,650千円増加した一方で、未払費用が35,515千円、長期前受収益が34,130千円減少いたしました。未払金は、主に、特別調査委員会設置による調査費用、前受金は、主にVFX事業の進行により増加したものであります。

純資産では、利益剰余金が146,549千円減少した一方で、資本金が277,621千円、非支配株主持分が392,071千円増加いたしました。利益剰余金は、親会社株主に帰属する中間純損失の計上によるものであります。資本金は、新株予約権の行使によるものであり、非支配株主持分は、主に(株)ツリーフルが2024年1月に行った第三者割当増資による持分変動によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、スマートフォンアプリ事業における、アプリの開発やダウンロード配信が予定どおりに進まない可能性や、ダウンロード配信開始後のアプリによる課金収入の予測が極めて困難であり、また、オンラインゲーム事業における、既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が非常に難しく、HTML5ゲーム事業における開発が予定どおりに進まない可能性や課金収入の予測も極めて困難であります。さらに、新規事業であるクラウド関連事業、ツリーハウスリゾート事業、Meta Campus事業及びVFX事業については、当該事業を取り巻く環境の変化等により損益が大きく変動する可能性が高く、適正な業績予想が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えていただいております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,345,086	1,597,023
売掛金及び契約資産	262,512	322,197
棚卸資産	3,735	2,881
未収入金	22,126	24,395
暗号資産	33,514	46,098
短期貸付金	—	175,000
前払費用	29,231	32,698
その他	25,821	115,542
貸倒引当金	△853	△1,143
流動資産合計	1,721,174	2,314,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	167,834	204,430
土地	46,294	46,294
その他(純額)	346,385	353,603
有形固定資産合計	560,514	604,329
無形固定資産		
のれん	447,296	439,835
その他	64,027	53,894
無形固定資産合計	511,324	493,729
投資その他の資産		
投資有価証券	250	215
敷金及び保証金	65,719	27,011
長期前払費用	208,175	233,516
繰延税金資産	288,684	299,193
その他	—	50
投資その他の資産合計	562,829	559,988
固定資産合計	1,634,668	1,658,046
資産合計	3,355,843	3,972,740
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,321	3,508
短期借入金	270,000	255,200
1年内返済予定の長期借入金	15,623	16,375
未払金	173,614	199,520
未払費用	82,095	46,580
前受金	66,800	88,301
前受収益	128,333	116,000
未払法人税等	5,914	8,705
リワード引当金	20,446	30,337
賞与引当金	820	894
その他	29,165	87,668
流動負債合計	796,134	853,090
固定負債		
長期借入金	51,179	43,336
長期前受収益	260,385	226,255
繰延税金負債	5,751	5,607
退職給付に係る負債	225,223	258,873
その他	2,612	1,636
固定負債合計	545,152	535,708
負債合計	1,341,287	1,388,798

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,213,860	4,491,482
資本剰余金	2,857,838	2,868,426
利益剰余金	△5,136,152	△5,282,701
株主資本合計	1,935,546	2,077,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172	148
為替換算調整勘定	△335,496	△294,587
その他の包括利益累計額合計	△335,323	△294,438
新株予約権	29,438	24,207
非支配株主持分	384,894	776,966
純資産合計	2,014,555	2,583,942
負債純資産合計	3,355,843	3,972,740

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	982,096	1,202,689
売上原価	309,871	434,299
売上総利益	672,225	768,389
販売費及び一般管理費	783,544	870,443
営業損失(△)	△111,318	△102,054
営業外収益		
受取利息	7,416	18,139
暗号資産売却益	—	9,338
暗号資産評価益	—	1,195
為替差益	24,107	39,525
受取出向料	—	6,020
その他	6,507	4,309
営業外収益合計	38,031	78,528
営業外費用		
支払利息	59	7,695
暗号資産評価損	5,014	—
その他	475	202
営業外費用合計	5,548	7,898
経常損失(△)	△78,836	△31,424
特別損失		
固定資産売却損	—	449
固定資産除却損	—	5,525
特別損失合計	—	5,975
税金等調整前中間純損失(△)	△78,836	△37,399
法人税、住民税及び事業税	2,763	3,376
法人税等調整額	△11,355	6,575
法人税等合計	△8,592	9,952
中間純損失(△)	△70,244	△47,351
非支配株主に帰属する中間純利益	801	99,197
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△71,045	△146,549

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純損失(△)	△70,244	△47,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△24
為替換算調整勘定	33,451	54,405
その他の包括利益	33,430	54,381
中間包括利益	△36,813	7,029
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△48,069	△105,664
非支配株主に係る中間包括利益	11,256	112,693

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△78,836	△37,399
減価償却費	13,616	50,309
のれん償却額	7,631	26,906
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11	237
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,830	74
リワード引当金の増減額(△は減少)	5,553	8,548
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,668	20,813
受取利息及び受取配当金	△7,416	△18,154
支払利息	59	7,695
暗号資産売却損益(△は益)	—	△9,338
暗号資産評価損益(△は益)	5,014	△1,195
有形固定資産売却損益(△は益)	—	449
有形固定資産除却損	—	5,525
売上債権の増減額(△は増加)	△45,967	△44,878
棚卸資産の増減額(△は増加)	△757	854
前払費用の増減額(△は増加)	△16,593	△1,899
長期前払費用の増減額(△は増加)	△12,037	△13,624
仕入債務の増減額(△は減少)	△4	7
未払金の増減額(△は減少)	△41,676	15,213
前受金の増減額(△は減少)	14,556	14,025
前受収益の増減額(△は減少)	53,500	△28,710
長期前受収益の増減額(△は減少)	11,009	△47,184
その他	45,493	△81,676
小計	△34,008	△133,401
利息及び配当金の受取額	7,416	11,392
利息の支払額	△60	△9,253
法人税等の還付額	600	1,536
法人税等の支払額	△6,697	△3,454
営業活動によるキャッシュ・フロー	△32,749	△133,182
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△135,287	△85,884
有形固定資産の売却による収入	—	452
無形固定資産の取得による支出	△4,280	△896
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△223,133	—
差入保証金の差入による支出	△4,280	△3,390
差入保証金の回収による収入	32	44,589
貸付けによる支出	—	△175,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△366,949	△220,129
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△28,000
長期借入金の返済による支出	△4,800	△8,796
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	550,012
非支配株主からの払込みによる収入	4,863	15,540
財務活動によるキャッシュ・フロー	63	528,756
現金及び現金同等物に係る換算差額	49,872	30,022
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△349,762	205,467
現金及び現金同等物の期首残高	1,839,156	932,628
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,489,393	1,138,095

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第7回新株予約権の行使に伴う新株の発行により、資本金が277,621千円、資本準備金が277,621千円増加いたしました。また、2024年1月31日付で当社連結子会社である㈱ツリーフルの第三者割当増資を当社が引受けたことに伴う親会社持分の変動により資本剰余金が266,961千円減少いたしました。この結果等により、当中間連結会計期間末において資本金が4,491,482千円、資本剰余金が2,868,426千円となっております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金勘定	1,489,393千円	1,597,023千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	458,927
現金及び現金同等物	1,489,393	1,138,095

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	韓国	計		
売上高					
オンラインゲーム事業	—	157,702	157,702	—	157,702
スマートフォンアプリ事業	—	112,993	112,993	—	112,993
HTML5ゲーム事業	—	576,971	576,971	—	576,971
Meta Campus事業	—	112,350	112,350	—	112,350
その他事業	17,792	4,286	22,078	—	22,078
顧客との契約から生じる収益	17,792	964,304	982,096	—	982,096
外部顧客への売上高	17,792	964,304	982,096	—	982,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,024	10,812	23,837	△23,837	—
計	30,816	975,117	1,005,934	△23,837	982,096
セグメント利益又は 損失(△)	△190,315	87,454	△102,861	△8,457	△111,318

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△8,457千円は、セグメント間取引消去△826千円及びのれんの償却額△7,631千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当中間連結会計期間において、ROAD101 Co., Ltd. の株式を取得し子会社化したことにより、主に同社の現金及び預金、有形固定資産が増加いたしました。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当中間連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「日本」セグメントにおいて544,212千円減少し、「韓国」セグメントにおいて730,278千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「韓国」セグメントにおいて、当中間連結会計期間にROAD101 Co., Ltd. の株式を取得し子会社化したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては378,689千円であります。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	韓国	計		
売上高					
オンラインゲーム事業	—	230,369	230,369	—	230,369
スマートフォンアプリ事業	—	150,169	150,169	—	150,169
HTML5ゲーム事業	—	557,706	557,706	—	557,706
Meta Campus事業	—	173,043	173,043	—	173,043
VFX事業	—	33,980	33,980	—	33,980
その他事業	26,310	31,109	57,420	—	57,420
顧客との契約から生じる収益	26,310	1,176,378	1,202,689	—	1,202,689
外部顧客への売上高	26,310	1,176,378	1,202,689	—	1,202,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,186	11,787	23,974	△23,974	—
計	38,497	1,188,166	1,226,663	△23,974	1,202,689
セグメント利益又は 損失(△)	△236,085	162,307	△73,778	△28,275	△102,054

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△28,275千円は、セグメント間取引消去△1,369千円及びのれんの償却額△26,906千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(決算訂正関連費用)

当社は、外部機関より当社の連結子会社であるGala Lab Corp.において2016年3月期から資産計上を開始し、2021年3月期に減損損失228,257千円を計上したソフトウェアの資産計上の妥当性について疑義があるとの指摘を受けたため、2024年5月30日付で当社と利害関係の無い外部の有識者で構成される特別調査委員会を設置して調査を行い、2024年9月9日付で特別調査委員会から調査報告書を受領いたしました。

当該調査結果を踏まえ、当社は、再発防止策を策定し、2024年10月30日付で公表しております。また、2024年11月12日付で過去に提出済みの有価証券報告書等について訂正を行っております。

当該調査費用及び決算訂正に係る費用は、当中間連結会計期間において59,227千円が計上されており、当第3四半期連結会計期間以降に計上される概算額は208,704千円ですが、最終的な計上額は変動する可能性があります。

(資金の借入)

当社は、2024年10月25日開催の取締役会において、資金の借入を行うことを決議し、以下の通り借入を実行いたしました。

資金の借入の概要

借入先	: 株式会社SBJ銀行
借入金額	: 1,000,000千円
借入金利	: TIBOR 3M+1.65% (変動金利)
借入実行日	: 2024年10月31日
最終弁済期日	: 2025年4月30日
返済方法	: 元金均等返済
担保の有無	: (担保) 購入不動産、(連帯保証人) Megazone Corporation
資金使途	: 設備投資資金

(固定資産の取得)

当社は、2024年10月31日に以下のとおり固定資産を取得いたしました。

(1) 取得の理由

当社連結子会社への賃貸を目的として賃貸用不動産を取得いたしました。

(2) 取得の内容

- ①投資内容 : 賃貸用不動産
 - ②名称 : H Square
 - ③所在地 : 8F, 680 Sampeoyng, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, Republic of Korea
 - ④面積 : (土地) 9066.3分の245.5㎡、(建物) 888.24㎡
 - ⑤取得価額 : (土地) KRW 5,587,500,000、(建物) KRW 6,912,500,000
- ※付随費用については、精査中であります。

(3) 相手先の概要

相手先の名称: Yeonhab Precision Co., Ltd.

なお、取得先と当社との間には、資本関係、人的関係および取引関係はなく、関連当事者にも該当いたしません。

(4) 取得の日程

- ①取締役会決議 : 2024年8月24日
- ②契約締結日 : 2024年9月30日
- ③物件引渡日 : 2024年10月31日